

都中英研だより

第 63 号

東京都中学校英語教育研究会
会 長 井 田 宗 宏
(練馬区立豊玉中学校長)

英語教育に人一倍、情熱を持つ

東京都中学校英語教育研究会
会 長 井 田 宗 宏

日頃より、都中英研の諸活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。会長職を受け継ぎ、今年度で4年目を迎えました。今年度もまた新たな気持ちで取り組んで参ります。何とぞよろしく願いいたします。

六十数年の歴史と伝統のある都中英研のこれまでとこれからのことを考えますと、改めて身の引き締まる思いでいっぱいになります。これまで培われてきた都中英研の財産を受け継ぎ、さらに発展できればと思います。会員の皆様とともに、変革期にある中学校英語教育の確かな舵取りができればと考えています。

これまで私が長年、都中英研でお世話になる中で、諸先輩方から教をこうむり、ご指導いただいたことは、「まず自分の学校を、子どもたちを大切に、なおかつ人一倍、英語教育に厚い情熱を持ち続けるように」ということでした。

今年度より、各中学校では新学習指導要領が全面実施されています。中学校の英語科は、各学年とも、すべての教科の中で最も時数が多くなりました。これを軌道に乗せるためには、これまで以上に英語科教員の一人一人の力量が試されることとなります。

4技能を総合的に育成する指導のあり方や文法指導と言語活動を一体的に行う指導の工夫、さらにはコミュニケーション活動についても新たな素地の上に立ち、さらに工夫された指導が求められています。

全英連も含め、東京には毎年のように大きな負荷がかけられているようですが、毎回の積み重ねで、東京の中学校英語教育の基盤は一層強固なものに

なることを信じています。

また都中英研の各種の事業には、毎回、多くの英語科教員が参加しています。昨年度より、都中英研の各種事業が、都教職員研修センターから研究推進団体の認定を受け、先生方が一層、研修に参加しやすい体系を整えました。

特に今年度、力点を置きたいことが三つあります。一つ目に若手英語科教員の人材育成です。都内では、新規採用者を含め、若手教員の数が増加傾向にあります。各区市町村でも研修が進められていますが、都中英研では年間を通して研究会、研修会等に参加しやすい体制を作り、推進してまいります。二つ目に調査・研究の一層の充実を図ることです。そのためには各中学校で、日々の授業を充実したものにすることが不可欠です。英語教育に関わる実践的な課題について主体的に取り組み、その成果・課題を整理し皆さんに提示いたします。

特に小学校外国語活動との関連に留意し、組織的な体制のもとで連携を深め、推進いたします。三つ目に都内の各中学校と情報の共有化を一層推進していきます。広域にわたりますので、ホームページを有効活用し、様々な情報を発信し、隅々にまで行き渡るようにして参ります。最新の情報だけではなく、過去の貴重なデータも掲載し、役立てていただくようにいたします。

会員の皆様におかれましては、学校を取り巻く環境が一層厳しくなる中ではありますが、今後とも連携を深め、東京都の中学校英語教育の充実に向けて、共に歩んでいきたいと思っております。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。



平成24年度 都中英研総会

平成24年度の都中英研総会が、5月11日（金）に、豊島区立千登世橋中学校にて開催されました。井田宗宏会長の挨拶、平成23年度の事業報告と決算報告に続き、平成24年度の役員選出と承認がなされ、新役員が下表の通りに決まりました。その後、平成24年度の事業計画案と予算案が提案され、承認されました。

<平成24年度の行動目標>

1. 組織の充実とその活性化を図る。
2. 人材の発掘とその育成に努める。
3. 調査・研究の充実を図る。
4. 英語教育に関わる関係機関や関係団体との連携を図る。
5. 英語教育に関わる各種情報の収集・発信を進める。



総会后、昨年度に引き続き今年度もまた、桜美林大学大学院教授の森住衛先生より「英語教育と人間教育」というテーマで記念講演会が行われました。森住先生からは、具体的で実際の例示を加えながら「人間教育」を意識した授業実践がいかに大切なことであることを教えていただくことができました。

●役員一覧 / 組織票<平成24年>

役職	氏名	所属校	職位
会長	井田 宗宏	練馬区立豊玉中学校	校長
副会長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
〃	牛島 順子	目黒区立第四中学校	校長
〃	重松 靖	国分寺市立第三中学校	校長
〃	阿字 宏泰	荒川区立第一中学校	校長
〃	石鍋 浩	足立区立蒲原中学校	校長
〃	松岡 敬明	武蔵野市立第一中学校	校長
〃	惣田 修一	足立区立洲江中学校	校長
〃	清野 正	江戸川区立松江第六中学校	校長
総務部長	飯島 光正	豊島区立千登世橋中学校	校長
経理部長	佐藤 恭子	世田谷区立尾山台中学校	校長
調査部長	五十嵐 浩子	小平市立小平第一中学校	校長
事業部長	横山 達也	八王子市立第七中学校	教諭
研究部長	北原 延晃	港区立赤坂中学校	教諭
出版部長	池田 武男	杉並区立井草中学校	校長
P T 部長	斉藤 節子	豊島区立明豊中学校	副校長
会計監査	稲葉 秀哉	板橋区立赤塚第二中学校	校長
〃	和田 文宏	狛江市立狛江第四中学校	副校長
〃	岩崎 紀美子	八王子市立別所中学校	副校長

●●●●● 平成24年度 中英研年間事業計画 ●●●●●

都中英研では7つの部があります。今年度の各部の主な事業計画は以下の通りです。

総務部

定期総会の運営（5月11日）
全英連中学校部会の運営補助（6月～7月）
中英研各地区部長・幹事会の開催（8月28日）
豊島区立千登世橋中学校
関ブロ茨城大会に関する事務
各部の事業への運営補助

研究部

辞書指導についての研究
語い指導ワークショップの開催
（第1回 7月30日）大田区立田園調布中学校
（第2回 8月1日）千代田区立九段中等教育学校
（第3回 8月21日）品川区立荏原第六中学校

経理部

都中英研事業に係る会計事務

事業部

定期総会の運営（5月11日）
サマーワークショップの開催（8月21日）
千代田区立九段中等教育学校
授業力アップ研修会の開催（10月）
英語学芸大会の開催（12月2日）
豊島区立千登世橋中学校

出版部

「都中英研だより」第63号の発行（7月）
「都中英研だより」第64号の発行（12月）
「中英研会報」第71号の発行（3月）
都中英研ホームページの更新補助

調査部

コミュニケーションテストの作成・実施・処理・
分析・報告書作成（後述参照）

プロジェクト・チーム部

プロジェクトチーム部研修会（8月17日）
豊島区立明豊中学校
研究活動（文献研究・授業研究・授業分析）

●●●●● 研究大会・協議会 ●●●●●

夏季全英連中学校部会 7月26日（木）13：30～16：30

講師：文部科学省初等中等教育局 国立教育政策研究所教育課程調査官 平木 裕先生
講演：「新学習指導要領を踏まえたコミュニケーション能力の育成
～小学校から中学校への円滑な接続を通して～」
会場：北とびあ7階 第一研修室

各区市町村英語教育研究部部長・幹事会 8月28日（火）15：00～

講師：東京外国語大学教授 根岸 雅史先生
講演：「これからの中学校英語教育のあり方」
会場：豊島区立千登世橋中学校

全英連石川大会 11月23日（金）・11月24日（土）

会場：第1日目 石川県立音楽堂
第2日目 金沢大学（2号館・4号館・5号館）
大会コンセプト：「学ぶ喜び 教える楽しさ - 意欲を育む英語教育の探求」

関ブロ茨城大会 11月9日（金）

会場：日立シビックセンター、他
テーマ：「積極的にインタラクティブできる生徒の育成をめざして」

中英研コミュニケーションテスト

調査部で実施している活動事業です。

- (1) 趣旨：①本テストは学習内容を領域別に分け、コミュニケーション能力を測るものとして作成しています。テストの結果は、生徒自身の学習法や教師の指導改善に役立つように工夫しています。
②中学生が遭遇しそうな場面とタスクを設定し、中学生が遭遇しそうなテキストを使って、vocabulary, grammar, listening, reading, writing の到達度を測定するコミュニケーションが実感できるテストとなるように問題を作成しています。
- (2) 対象学年：中学2年生、中学3年生
- (3) 出題範囲：各学年とも9月末までの履修範囲
- (4) 実施期間：10月上旬から11月初旬（各校で設定した日時で実施）
- (5) 所要時間：50分（リスニングテスト10分程度を含む）
- (6) 答案処理：マークシート方式
- (7) 申込期間：5月14日～7月20日
- (8) 申込方法：①都交換またはFAXまたは郵送で申し込む。
下の参加申込書を次の送付先まで送ってください。
②メールで申し込む。次の内容で communicative_testing@yahoo.co.jp までご連絡ください。
- (9) 代金：一人280円（内訳：問題作成、答案処理、集計や分析、録音など）
- (10) その他：①テストの詳細（実施方法、事後処理）、送金方法などは参加校が決定後に参加校に直接ご案内いたします。
②お問い合わせは、調査部担当副会長重松（042-572-7143）までお願いします。



中英研コミュニケーションテストが本になっています。編著者として東京外国語大学教授根岸雅史先生のご指導を受け、本テスト10年間の実践研究を紹介し、『コミュニカティブ・テストングへの挑戦 A Practical Guide to Communicative Testing』というタイトルで三省堂から出版されています。

都中英研ホームページ

検索

都中英研の動向、情報をお知らせしております。本誌「都中英研だより」については、都内各校に送付される前に、いち早く閲覧が可能です。また現在、経費節減のため「都中英研だより」および都中英研の年報である「中英研会報」の配布については、都内各中学校2部と限定しておりますが、東京都ばかりか全国の全ての英語科教員に対して、都中英研の活動の様子を公開しております。その上、「都中英研だより」「中英研会報」のいずれも、近年のバックナンバーを揃えております。ぜひとも、下記URLにアクセスしてください。

<http://www.chuueiken-tokyo.org>

〈出版部より〉

「都中英研だより 第63号」を発行しました。今年度、出版部では、「都中英研だより」を7月(夏号)と12月(秋号)に発行する予定です。近年、夏季休業日の直前に発行している夏号では、総会の様子や各部の活動計画、各研究会・研修会の予定等をお知らせしています。そして、11月～12月に発行している秋号では、夏季休業日中に行われた研究会や研修会の報告、都内各地区の研究活動の紹介、等を掲載しています。また、年度末に冊子としてまとめて発行する「中英研会報」には、当年度の都中英研の活動報告や英語教育に関する最新動向、等を掲載しています。特に、各地区の英語研究活動報告については、都内全区市からの情報提供をお願いしており、東京都の英語教育の状況を知る貴重な資料ともなっています。

本誌に関するお問い合わせ先：杉並区立井草中学校長 池田武男（中英研出版部長）

TEL：03-3390-3144 FAX：03-3390-5571